

もっと知りたいな町のこと 『町には「すてき」がいっぱいあるよ』

本単元で育成する資質・能力

主体性・思考力・自己理解

単元について

- 本単元は、小学校学習指導要領解説生活編の内容（3）「自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所とかかわっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、人々と接することや安全に生活することができるようにする。」及び（4）「公共物や公共施設を利用し、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれを支えている人々がいることなどが分かり、それらを大切にし、安全に気を付けて正しく利用することができるようにする。」を受けて設定した。ここでは、児童が身近な生活圏である地域に出て、様々な場所を調べたり、人と接したりする中で、それらに対する親しみの気持ちや愛着を深めるとともに、人々との適切なかかわりや安全な生活ができるようにすることをねらいとしている。今回、ふるさと館・東海田幼稚園・広島国際学院高等学校・海田町立図書館を探検の場所を選定した。ふるさと館は、織田幹雄や三村敏之などの展示品、広島県天然記念物の観音免のクスノキ等、海田町をスポーツや自然を通して、より身近に感じることができる公共施設である。海田町立図書館は、児童の4割程が行ったことがあり、将来的に利用する可能性が高い公共施設である。東海田幼稚園・広島国際学院高等学校は、両施設の比較や海田東小学校との比較をすることにより、両施設の役割などを明確にできると考える。身近な施設を学習の場として、場所や人とかかわることで、町のよさや自分と地域のかかわりの深まりに気付き、地域への愛着をもつようになると考える。
- 本学級の児童は、春から育てているミニトマト、きゅうり、なすの観察や町探検を通して、意欲的に活動・観察している。また、生活科のアンケートでは、「生活科が好き（97%）」「秘密や不思議を調べるのが好き（100%）」と、興味関心が高く意欲的に学んでいることが分かる。1学期に「レッツゴー町たんけん」の単元において地域のことを学習し、自分たちの身近な地域の探検活動を行った。その中で、地域のよさに触れ、地元への関心を高めることができた。しかし、人とかかわりにおいて、家族以外に近所の人と話したり挨拶したりする児童はあまり多くなく、近所との関係が希薄な印象を受ける。
- **主体的に学ぼうとする「課題発見・解決学習」の単元開発**
指導に当たっては、導入時に1学期の町探検や夏休みの体験を思い出し、発表し合うという活動を通して、地域についてもっと知りたいという気持ちを高め、かかわりの意欲付けを図りたい。本単元は、前単元「レッツゴーまちたんけん」を発展させたもので、地域の人や場所とのかかわりをさらに広げ、自分の生活を豊かにすることをねらいとしている。計画の段階では、児童の様々な疑問や思いをふくらませ、もっと見たいことや聞きたいこと、やってみたいことが何なのかということを具体的に考えさせ、家族に町の「すてき」を伝えるという明確な目的意識をもたせながら**課題の設定**を行う。地域に関心をもち、町の施設の役割や、児童とそこで働く人々とかかわりやそこを利用している人とかかわりを通して、人々の思いや願い、地域や友だちのよさなど様々な気付きや発見をするという見通しをもたせるとともに、主体的に学ぼうとする意欲を高めさせたい。

情報収集の段階では、1学期の探検の経験を生かしながら、町の施設のどんなことを見たり、聞いたりしたいかを考えさせる。今回の探検では、人とのかわりに焦点を当てることで、より深く地域のよさを学ぶことができると考える。また、探検前にあいさつやインタビューの仕方、見学のマナーなどについても考える場をもつことで、人と適切に接する態度や進んでかかわろうとする態度を育てたい。各施設での人やその関連する人々とインタビューなどを通して人とのかわりをもたせながら、それぞれの施設の役割や疑問に思ったことを中心にインタビューしそれぞれの施設の違いについて見付けていく。

整理・分析の段階では、探検で発見したことや、インタビューで分かったことをたんけんカードに絵や文章でまとめさせることで、施設のよさに気付かせる。そのたんけんカードからそれぞれの施設の役割や働いている人・利用している人について比較しながら考えさせる。そして、町の「すてき」を見付ける活動を通して、施設と地域を関連付けながら考える力を付けさせたい。また、それぞれの施設が地域に貢献している意義についても気付かせていきたい。

まとめ・創造・表現の段階では、学習のまとめとして、自分の一番気に入った施設を選び、家族に町の「すてき」をペアやグループごとに伝えさせる。ペアやグループごとにポスターや新聞、ニュース、紙芝居、クイズなどから選ばせて表現させる。家族に伝える前に学級全体での交流の場を設け、町の「すてき」についての広がりをもたせたい。学級全体で交流することで、地域とそれぞれの施設のかかわりをしっかりと見つめ、気付きや思いを意欲的に表現できると考える。それぞれの施設のよさを紹介することにより、児童がもつ町のイメージを高めることで、達成感や今後の新たな活動意欲を感じられるようにしたい。

振り返りの段階では、町の「すてき」の発表についての家族の感想を学級で交流させる。そのことで、自分のよさやがんばりに気付くことができると考える。また、学習を通して学んだことや町の「すてき」を自覚できるようにするとともに、これから地域において、自分たちにできそうなことを考えさせたい。その中で、地域への愛着をさらに深めていくために、これからの教育活動においても地域にかかわっていくという目標を明示して、意欲を高めていきたい。

○ **「学び合い」における協働的な思考の場の工夫**

本単元では、ペアやグループ活動を中心に、協働的な思考の場を工夫する。探検したそれぞれの施設で、伝えたい、大切だと思うものを選ぶ場面では思考ツールの「くま手図」を活用する。「くま手図」を用いて五感を意識させて、驚いたことや初めて知ったこと、また行ってみたいと思ったことを明確にしなが、個人で書かせる。そしてペアで考えを出させて交流した後、全体の場で、町の「すてき」について明確にしていく。その際、同じところと違うところを比較し整理することで、その施設の特長や必要性を再認識できるようにする。また、自分たちの通っている海田東小学校と比較し、相違点を明らかにすることで、選んだ施設のよさを整理しやすくなると考える。

単元の目標及び内容について

- 地域やそこに住む人々に関心を持ち、安全やマナーに気を付けて自分の住んでいる町について調べようとする。 【生活科への関心・意欲・態度】
- 目的意識を明確にして探検する中で、地域の人々と適切に接し、安全やマナーについて考えることができるとともに、気付いたことや分かったことをすなおに表現することができる。 【活動や体験についての思考・表現】
- 自分たちの生活と地域の人々や様々な場所とのかかわり、自分の町のよさに気付くことができる。 【身近な環境や自分についての気付き】

単元の評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
町探検を通して、自分の住んでいる町に関心を持ち、地域や人々に親しみをもってかかわり、友だちと協力して調べたり、まとめたりしようとしている。	地域の人々や様々な場所と適切にかかわる中で、安全やマナーについて考えながら利用し、町探検で発見したことや気付いたことや教えてもらったことについて、自分なりの方法で工夫して表現している。	町探検での人々とのかかわりを通して、町のよさにあらためて気付いている。 町にある公共施設の役割に気付き、そこで働く人や支えている人がいることが分かっている。

指導と評価の計画

全 10 時間

次	時	学習活動	評 価				
			関	思	気	評価規準	評価方法
一	1	課題の設定（1） ○町の施設でもっと知りたいことを話し合う。 ・町探検の体験をもとに、話し合う。 ・町の施設を探検する視点を決める。	○			・町の施設に関心を持ち、進んでかかわろうとしている。	行動観察カード
二	2	情報の収集（4） ○海田町ふるさと館・東海田幼稚園・広島国際学院高校海田町立図書館探検では、どんなことを見たり、聞いたりしたいか考える。		○		・探検する施設の調べたいことや質問内容について考えている。	行動観察カード

次	時	学習活動	評 価				
			関	思	気	評価規準	評価方法
三	3 5	<ul style="list-style-type: none"> ○海田町ふるさと館・東海田幼稚園・広島国際学院高校に行って館内を探検する。 ・疑問点を中心に海田町ふるさと館・東海田幼稚園・広島国際学院高校を探検し、みんなが気持ちよく利用できるような工夫を見付ける。 ・それぞれの施設の役割や疑問に思ったことをインタビューする。 ・それぞれの施設の違いについて見付ける。 		○		<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等を見たり調べたりしながら、みんなが気持ちよく利用できるように、どのような工夫がされているかを考えている。 	行動観察 探検カード
	6	<p>整理・分析（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○海田町ふるさと館・東海田幼稚園・広島国際学院高校探検で発見したことや考えたことを話し合う。 ・それぞれの施設の役割や働いている人・利用している人について比較しながら考える。 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの施設のよさを比較したり分類したりしている。 	行動観察 探検カード
	7	<ul style="list-style-type: none"> ○伝えたい、大切だと思うものを決定していく。 【本時】 		○		<ul style="list-style-type: none"> ・五感を使いながら自分の町の「すてき」について気付いたことを伝え合っている。 	ワークシート 行動観察
四	8	<p>まとめ・創造・表現（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○気に入った施設を選び、どのような方法で表現していくか考える。 ○ペアやグループごとに学級全体で交流する。 		○		<ul style="list-style-type: none"> ・町探検で見付けたことや気付いたことを自分の伝えたい方法で表している。 	ワークシート 行動観察 作成物
	9	<ul style="list-style-type: none"> ○町の「すてき」をに家族に紹介する。 		○		<ul style="list-style-type: none"> ・町探検で見付けた自分の「すてき」について工夫して表現している。 	行動観察
	10	<p>振り返り（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習を振り返る。 ・これまでに学習したことを振り返り、それぞれの施設に親しみや愛着をもった自分に気付く。 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・親しみや愛着のある場所が増えたり、自分なりの方法で表したりできるようになった自分に気付いている。 	ワークシート 行動観察

本時の学習

(1) 本時の目標

- 自分の町の「すてき」を見付けることができる。

(2) 本時の評価規準

- 五感を使いながら、自分の町の「すてき」について気付いたことをくま手図に書き、言葉で伝え合っている。 【活動や体験についての思考・表現】

(3) 本時の学習展開（7時間目／全10時間）

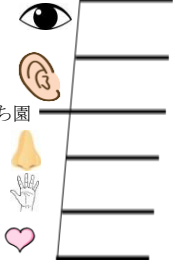

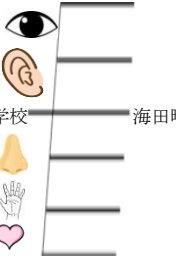
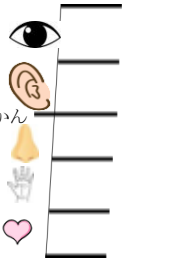
学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力 ☆育成したい資質・能力
1 前時までの学習を振り返る。 2 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> めあて 自分の町の「すてき」を見つけよう。 </div>	◇海田町ふるさと館，東海田幼稚園，広島国際学院高等学校，海田町立図書館の簡単な役割について確認する。	
3 自分の考えをまとめる。 ○探検をしてどんな「すてき」を見付け、どんなことを思ったのか、くま手図に書きましょう。 <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> □思考の場の工夫 多面的にみる くま手図を用いて、視点を明確にすることで多面的に施設についてのよさを考えさせる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 海田町ふるさと館 目：広島カープの三村選手 耳：クスノキの歯のゆれる音 鼻：木におい 手：木がざらざらしている 心：昔の道具や海田のことがよく分かる </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 東海田幼稚園 目：小さい机 耳：きれいな歌声 鼻：土におい 手：小さい手がつるつる 心：みんな小さくてかわいい </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 広島国際学院高校 目：食堂 耳：チャイムの音 鼻：うどんのおい 手：大きくて温かい手 心：やさしいお姉さん </div>	◇自分の伝えたいことを明確にして発表するために5つの視点の入った「くま手図」を使いながら考えさせる。 ◇5つの視点で自分の考えを付箋紙に書かせる。 ◆自分の見付けた施設の「すてき」をくま手図に書き表しにくい場合は友だちのくま手図を見せてもらうことができるようにする。 ◇それぞれの施設を、五感を使ってよさを考えさせる。	☆五感を使って多面的に考えようとしている。

<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>□思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>★めざす児童の姿</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕</p> <p>(評価方法)</p> <p>◎本時で付けたい力</p> <p>☆育成したい資質・能力</p>
<p>海田町立図書館</p> <p>目：いっぱいの本</p> <p>：CDやDVD</p> <p>耳：本をめくる音</p> <p>鼻：本のおい</p> <p>手：さらさら</p> <p>心：とても落ち着く</p> <p>4 グループで意見交換をする。</p> <p>○くま手図に書いたことから、それぞれの施設がどんなところか考えてみましょう。</p> <p>海田町ふるさと館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海田町の昔が分かる ・海田町にはスポーツですごい人がいた ・いろんな発見がある <p>東海田幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・僕らより小さい子がいる ・僕らと同じように勉強や運動をしている ・年下だからかわいい <p>広島国際学院高校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・僕らより大きいからすべてが大きい ・大人に近いから小さい子にやさしい ・食堂とか大人にみたい <p>海田町立図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近くて便利 ・いつでも本を読める ・私も行っている <p>5 本時の学習をまとめる。</p> <p>○家族に紹介したいことを決めましょう。</p>	<p>◇話し合いを通して気付きの共有化を図る。</p> <p>◇くま手図に説明を加えながら付箋を貼っていく。</p> <p>◇多様な考え方に触れさせながら自分の考えを整理させる。</p>	<p>◎それぞれの施設の「すてき」である理由について考えている。〔活動や体験についての思考・表現〕(行動観察, ワークシート)</p>
<p>★めざす児童の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしの見つけた町の「すてき」は広島国際学院高等学校のお姉さんです。なぜ広島国際学院高等学校のお姉さんと思ったかという、一つ目はゲームでボールをとってくれたことです。二つ目はやさしい目をしていました。三つ目は帰りに「またね。」と言ってくれたことです。だから、広島国際学院高校のお姉さん、お兄さんに自分から進んであいさつしたいです。 ・ぼくの見つけた町のすてきはふるさと館です。なぜふるさと館と思ったかという、一つ目はぼくの好きなカープのことが展示してあったことです。二つ目は海田町のむかしがよくわかるからです。三つ目はクスノキがとても大きかったからです。だから、また、家族と一緒にいきたいです。 		
<p>◇次時は、家族に伝える方法を考えて表現することを確認する。</p>		

(4) 板書計画

『町には「すてき」がいっぱいあるよ』

めあて 自分の町の「すてき」を見つけよう

 <p>東海田ようち園</p>	 <p>海田町ふるさとかん</p>	 <p>広島国さい学いん高とう学校</p>	 <p>海田町立図書かん</p>
<p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海田町の昔が分かる ・海田町にはスポーツですごい人がいた ・大きなクスノキがある ・いろんな発見がある 	<p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・僕らより小さい子がいる ・僕らと同じように勉強や運動をしている ・年下だからかわいい 	<p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・僕らより大きいからすべてが大きい ・大人に近いから小さい子にやさしい ・食堂とか大人にみた 	<p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近くて便利 ・いつでも本を読める ・私も行っていい

〈参考〉本時で使用する思考ツール

〈くま手図〉

